

# 北小ものがたり

竜王北小学校  
研究通信 &  
学校だより  
第6号

平成30年11月1日



## 2学期も後半になりました

9月半ば以来の、久しぶりの発行となりました。

この間、運動会・芸術鑑賞会・陸上記録会・PTA行事・校外学習などいろいろな行事がありました。保護者の皆様にもご協力をいただく中で、それぞれの行事の目標を達成することができました。誠にありがとうございました。

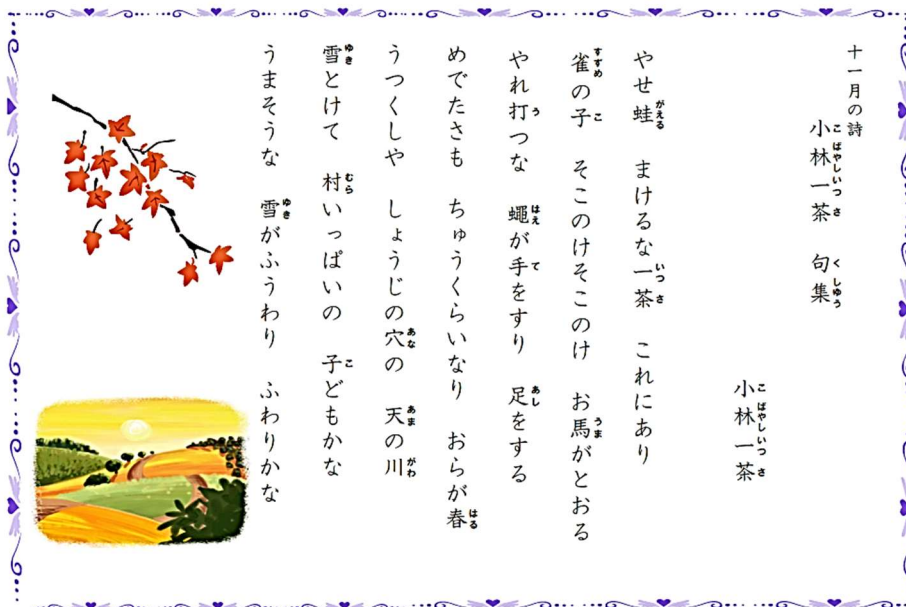
特に運動会においては、台風の影響もあり、延期して平日実施ということになってしまいました。ご心配やご迷惑をおかけしたことに心よりお詫びを申し上げますと共に、ご理解・ご協力に深く感謝いたします。それから、『運動会アンケート』へのご協力もありがとうございました。全職員で回覧して、読ませていただきました。ほとんどが、お子さんの成長を喜び、学級・学年・全校の子どもたちのがんばりを讃えてくださるものでございました。また、運営に関するご意見やルール・マナーに関するご提言などもいただきました。アンケートにお書きいただいたことを真摯に受け止め、来年度の運動会が更に良いものとなるよう検討を続けていきたいと思っております。

## 11月の詩（俳句）

今月は、小林一茶の句集より七句選びました。（※小学生向けに、現代仮名遣い等に直してあります。）

小林一茶は、今から200年ほど前に活躍した、江戸時代を代表する俳人の一人です。今の長野県生まれで、子どもや小動物を題材にしている作品が多く、親しみやすいと思います。

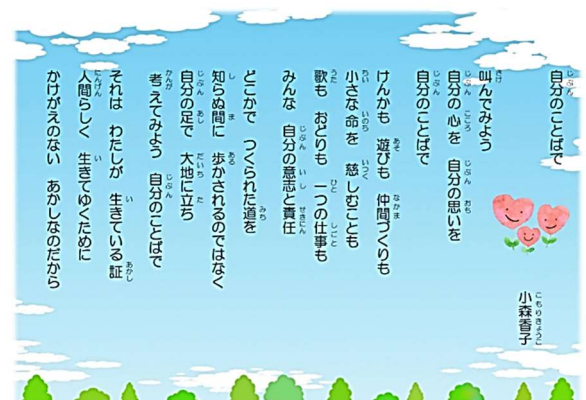
この七句の中で、秋の季語の入った句は、『天の川』が入っている一句だけです。



右は、10月の詩でした。紹介が遅れてすみません。『自分のことばで』という、小森香子さんの作品です。

少々慌ただしく過ぎ去った10月でしたが、お子さんは、口ずさんでいたでしょうか。難しい言葉も入っていて、覚えにくかったかもしれません。

この詩は、『自主性』『主体性』『生きる力』など、これから生きぬいていく子どもたちに必要なこと・大切なことがテーマとなっているのだと思います。私たち大人も、忘れてはいけないことです。



(文責：校長 廣瀬)